

井波陵一教授著作目録

編著書

- 『知の座標——中國目錄學』白帝社 二〇〇三年一月
『漢籍目錄を讀む』京都大學人文科學研究所附屬漢字情報研究センター 二〇〇四年三月
『魏晉石刻資料選注』(編) 京都大學人文科學研究所 二〇〇五年三月
『紅樓夢と王國維——二つの星をめぐって』朋友書店 二〇〇八年一月
『漢籍はおもしろい』(富谷至等と共著) 研文出版 二〇〇八年三月
『三國鼎立から統一へ——史書と碑文をあわせ讀む』(宮宅潔等と共著) 研文出版 二〇〇八年一〇月

譯書

- 『宋元戲曲考』平凡社 一九九七年一二月
『梁啓超年譜長編』全五冊(島田虔次編譯) 岩波書店 二〇〇四年一月〜一月
『新譯 紅樓夢』全七冊 岩波書店 二〇一三年九月〜二〇一四年三月

論 文

- 『林黛玉論——日常的解體を越えんとして——』『中國文學報』第二六冊

一九七六年四月

『《紅樓夢》——その内なる軋み』『中國文學報』第三〇冊 一九七九年四月

『紅學界の現状簡介』『中國文學報』第三四冊 一九八二年一〇月

『白話小説史に於ける《紅樓夢》の位置』『東方學報(京都)』第五五冊 一

九八三年三月

『金瓶梅』の構想』『東方學報(京都)』第五八冊 一九八六年三月

『《紅樓夢》の意義と王國維の評價』『滋賀大學教育學部紀要』第三七號 一

九八七年二月

『曹寅について』『東方學報(京都)』第五九冊 一九八七年三月

『王國維の學風を論ず』『東方學報(京都)』第六一冊 一九八九年三月

『躍動する精神——王國維の文學理論について』『中國文學報』第四二冊

一九九〇年一〇月

『躍動する精神(續)——王國維の史學について』『中國文學報』第四三冊

一九九一年四月

『薛寶釵を飾るもの』『滋賀大國文』第三一號 一九九三年六月

『家庭の秩序——《紅樓夢》における人間關係』『中華文人の生活』平凡社

一九九四年一月

『康熙辛卯江南科場案について』『東方學報(京都)』第六八冊 一九九六年

三月

- 『棟亭五種』の同校者たち』『東方學報（京都）』第六九冊 一九九七年三月
 『啓蒙の行方——梁啓超の評價について——』『共同研究 梁啓超——西
 洋近代思想受容と明治日本——』みずず書房 一九九九年一月
 『夢の續き——『紅樓夢』續編の世界』興膳教授退官記念中國文學論集』汲
 古書院 二〇〇〇年三月
 『王國維と『盛京時報』』『東方學報（京都）』第七二冊 二〇〇〇年三月
 『王國維の國學——記憶よ、語れ。』京都大學人文科學研究所七〇周年記念
 シンポジウム論集 西洋近代文明と中華世界』京都大學學術出版會
 二〇〇一年二月
 『文學理論の近代化——『紅樓夢』をめぐる』科學研究費補助金（基盤
 研究B2）『中國文學における通俗文學の發展及びその影響』報告書
 二〇〇一年三月
 『涙の流れるままに——林黛玉以外の人々』『中國の禮制と禮學』朋友書店
 二〇〇一年一〇月
 『王國維の歴史研究——アヴァンギャルドの時代に』『アヴァンギャルドの
 世紀』京都大學學術出版會 二〇〇一年十一月
 『王國維と二重證據法』『邊境出土木簡の研究』朋友書店 二〇〇三年三月
 『中國におけるヴァルター・ベンヤミン研究について』『東方學報（京都）』
 第七六冊 二〇〇四年三月
 『斷片であるということ——王國維の『人間詞話』について』『東方學報
 （京都）』第七九冊 二〇〇六年九月
 『寄る邊なき時代に——魏晉の新律制定が意味するもの』『江陵張家山二四
 七號墓出土漢律令の研究』朋友書店 二〇〇六年一〇月
 『六部から四部へ——分類法の變化が意味するもの』『漢字の中國文化』昭
 和堂 二〇〇九年四月
 『本をめぐる交流——王國維と神田喜一郎』『漢字文化三千年』臨川書店
 二〇〇九年七月

『長崎浩「叛亂論」から見た義和團運動』『東方學報（京都）』第八五冊 二
 〇一〇年三月

書 評

- C. T. Hsia, "The Military Romance: A Genre of Chinese Fiction", in Cyril
 Birch ed, *Studies in Chinese Literary Genres*. Berkeley: University of
 California Press, 1974. 『中國文學報』第二六冊 一九七六年四月
 Cao Xueqin, (transl. by David Hawkes) *The Story of the Stone Vol. 1: The
 Golden Days: Vol. 2. The Crab-Flower Club*. Penguin Classics, 1973.
 1977 『中國文學報』第二九冊 一九七八年四月
 京都大學圖書館情報學研究會『圖書館學の發展のために』『中國の圖書館と
 圖書館學』『東方』三四六 二〇〇九年一月

その他

- 『友好訪問を終えて』『日中佛教』第一四號 一九八〇年四月
 『買家をめぐる人々』『しにか』第三卷第一號 一九九二年一月
 『紅樓夢、金瓶梅ほか 女たちの世界』『週刊朝日百科・世界の文學』一〇八
 （編著）二〇〇一年八月
 『時代を代表する魂』『週刊朝日百科・世界の文學』一一〇 二〇〇一年一〇
 月
 『紅樓夢と清朝裝身具』『中國の美術』昭和堂 二〇〇三年一〇月
 『『東洋學文獻類目』の編纂の歴史——漢籍との関わりを中心に』『センタ
 ー所藏資料の活用と人文社會科學』（全國文獻・情報センター人文社會
 科學學術情報セミナーシリーズ二三）二〇〇三年十一月
 『思いがけぬ再會』『漢字と情報』九 二〇〇四年一〇月
 『東方部への新たな贈り物——島田虔次先生舊藏書の受入』『漢字と情報』
 一〇 二〇〇五年三月
 『京都大學人文科學研究所漢籍分類一覽』京都大學人文科學研究所附屬漢字

情報研究センター 二〇〇五年一月
「譯語から見えるもの」『漢字と文化』九 二〇〇六年一月
「旅への誘い——『旅行雑誌』について」『センター研究年報二〇一〇』二〇

一〇年一月
「林黛玉という少女」『群像』第七〇卷六號 二〇一五年六月